

授業科目名・形態	精神保健福祉制度論 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	古川 博文	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

当科目は精神保健福祉士に求められる諸制度の基礎知識を身につけ、制度の意義や目的の理解を深めるものです。精神保健福祉士が相談援助活動を展開する上で不可欠となる精神保健福祉に関する制度とサービスについて学びます。

【到達目標】

- (1) 精神保健福祉法成立までの経緯と意義について説明できるようになる。
- (2) 精神保健福祉法の概要を説明できるようになる。
- (3) 精神障害者等の福祉制度や福祉サービスについて説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービス
- 第 3 回 精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化(1)
- 第 4 回 精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化(2)
- 第 5 回 精神保健福祉法の概要(1)
- 第 6 回 精神保健福祉法の概要(2)
- 第 7 回 精神保健福祉法の概要(3)
- 第 8 回 精神保健福祉法の概要(4)
- 第 9 回 精神保健福祉法の概要(5)
- 第 11 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (1)
- 第 12 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (2)
- 第 13 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (3)
- 第 14 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (4)
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式(スライド、映像等)で行います。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行います。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目です、授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおいてください。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助技術各論 I・II、精神保健の課題と支援 I・II、精神科ソーシャルワーク論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編)『新・精神保健福祉士養成講座 6 精神保健福祉に関する制度とサービス』中央法規

【参考文献】

特にありません。テキスト以外に必要なものは授業で紹介します。

【成績評価方法】

成績評価は試験(70%)、レポート提出や授業への取り組み姿勢(30%)で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は福祉施設でソーシャルワーカー(社会福祉士7年・精神保健福祉士6年)として、利用者、その家族、支援者等への相談業務を経験しています。授業を通して社会福祉学の基本知識だけでなく、実務経験から得たソーシャルワーカーとしての知識・技術・価値を統合する能力についても高めていきたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めてください。また、配付資料は復習・テスト対策に活用できるように保管しておいてください。

精神保健福祉制度論 I と精神保健福祉制度論 II の科目は同じテキストを使用します。